

令和5年度（第2回）社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和5年6月27日（火） 14時00分～15時25分
- 2 開催場所 加古川市役所新館10階 大会議室
- 3 出席委員 後藤昌委員、坂田委員、田上委員、後藤強委員、高瀬委員、川上委員、菅原委員、徳田委員（8名）
- 4 欠席委員 大山委員、田中委員、和田委員、山尾委員、善積委員
- 5 出席職員 小南教育長、杉本教育指導部次長、福島教育指導部参事、今津教育指導部参事、井上教育指導部参事、梅野社会教育課長、石坂少年自然の家所長、田村中央図書館長、福本氷丘公民館長（代表）、久保田加古川西公民館長（副代表）
社会教育課（畑副課長、川向地域家庭教育係長、浮田主査、今井主事）
- 6 傍聴者 0名
- 7 議事要旨
- 開会 14時00分
委員長あいさつ、教育長あいさつ

（協議事項）

- （1）社会教育施設の運営について
（少年自然の家、中央図書館より説明）

委員

少年自然の家の樹木について、安全面から危険のあるものは伐採してほしい。ただ、伐採だけではなく自然を残す所は残していただき、子どもたちに自然に触れる体験をしてほしい。樹木に名前の書かれたプレートを設置するなど、実物を見て記憶に残るような仕組みづくりをしてほしい。少年自然の家は他と比較して誇れるところが多くあると思うので、来て良かったと感じてもらえるような仕組みづくりをしてほしい。

少年自然の家所長

樹木の伐採については、他のキャンプ場で樹木が倒れる事故があったこともあり、少年自然の家においても見回りを行い、危険な木についてはチェックし、伐採については計画し実行していきたいと考えている。枝が伸びてきた等の伐採は日常的に実施している。また、蜂についても駆除装置を何箇所か設置しており、危険がないようにしている。

提案のあった樹木へのプレート設置についても検討していきたいと思う。

委員

コロナ禍からの回復で利用人数の増加は確認できるが、資料に施設の利用率がないため、分かりにくい部分がある。少年自然の家が、過去に一番利用されていた際の人数や当時の利用率をデータで示して欲しい。また、行政としてこの利用人数は満足できる人数だったのかもわからない。

この会議で取り上げるということは、少なからず現状の利用率に課題があり、改善に向けて議論が必要であると考えているということである。その辺りは現在のデータだけでは評価が難しいため、提示していただきたい。

少年自然の家所長

過去の利用人数についてはまた提示を行う。現在手元で確認できる資料では、平成 27 年頃の利用人数が一番多い。おそらく自然学校等で多く利用されていたと推測される。

施設が満員になるのは実現が難しいと思うが、利用団体が快適に利用できるようにしていきたい。年中繁忙期というわけではなく、特に冬は利用が少ない時期となっているが、状況を確認していきたい。

委員

少年自然の家での自然学校は、人数が多いと宿泊では利用しづらいところがある。日帰りの自然学校の際は活用しやすく、コロナの時期は日帰りであったので利用した。自然学校での活動とリンクするような形態であればより活用がしやすいと感じている。

また冬など閑散期の活用は難しいと感じるが、周辺に平荘湖などがあるので渡り鳥の観察などのイベントなどがあれば、愛好家が訪れるのではないかと思う。

委員

少年自然の家の工作館は、4月、8月、3月には自主事業がないが、なにか理由があるのか。

少年自然の家所長

従前のスケジュールで実施している。おそらく4月は業務の関係で実施していないと予想される。他にも行事等との兼ね合いで実施をしていないと思われるが、確認を行う。

委員

工作館の利用人数は多いので、自主事業がないのはもったいない気がした。可能な範囲でいいので、毎月事業を実施してもいいと考えている。

委員

天体観測室の利用人数はコロナ禍後も伸び悩んでいる。性質上、利用者が季節的に偏る状況になると思うが、天体観測室自体のPRと、利用者がなければ他の事業と抱き合わせて事業を実施し、周知してもいいように感じる。

少年自然の家所長

天体観測室の利用人数が低迷しているが、チラシ等を作ってPRを図るとともに、より利用していただけるよう工夫していきたい。学校が団体で来てもらう他、出張天体観測という形で、学校などに出向いて事業を実施するなど、利用促進に向けて、PR等進めていきたい。

委員

樹木の名前のプレートについては、付けてもらえるとありがたい。

少年自然の家の敷地内の通路については、かなり歩きにくかった。以前にもその意見はあったと思うが、今年の5月に整備されたとのことだが、これはいつ頃に申請を行い、実施されたのか。

少年自然の家所長

4月下旬に市の担当部局に依頼し、市の技術職員の派遣を受け、5月中旬に整備を行った。

委員

少年自然の家のトイレについては1基だけ洋式となったが、今の状態のままでは不安が残るので、安心して使用してもらえるように順次整備を進めていってほしい。

委員

図書館について、両図書館には学習室が存在しているが、利用率はどのようになっているか。

中央図書館長

加古川図書館は駅前で立地がいいということで、中学生や高校生の利用が特に多い。学校が終わってから塾へ通うまでの空き時間に学習室を使うというような形が多いと聞いている。

中央図書館の利用率は加古川ほど高くない。利用時間も加古川は20時まで利用できるが、中央は運営管理上18時までと短くなっている。なお、今後、学習室の利用率については提示を行う。

委員

加古川駅周辺は総合福祉会館や総合庁舎など、子どもたちが勉強できる場所が多い印象を受ける。いい場所があるので、PRを行い図書館の利用率も上がればいいと考えている。

(2) 公民館の主催講座の更なる充実について
(社会教育課より説明)

委員

公民館の利用について、コロナ禍からの回復ということで、令和4年度の利用者が増えているというのは評価できると思う。

また、公民館の主たる利用者は、登録団体や高齢者大学であると考えているが、登録団体数はほぼ全館で減少し、それに伴い在籍者数も減少している。以前資料提供のあった、平成21年からの登録団体数と比較すると、半分以上の館で登録団体数も在籍者数も半分以下になっている。登録団体となると協議会での役割があるが、それが負担で登録団体を辞める団体もある。

登録団体数の減少に伴い、登録団体の協議会での負担が増えるため、悪循環になっていると感じている。公民館も活動をサポートしていると思うが、この流れを変えなければ、公民館が大変なことになるのではと危惧している。しかし、一向に改善する兆しはなく、利用者側に強制できるものではないため、改善も難しいと感じており、何か視点を変え、共に考えていく必要があると考えている。

元気な高齢者が増加する中で、減少の流れを変えるために、様々な専門的な見地から解決案があれば、是非啓発していただきたい、というのが率直な思いである。

氷丘公民館長

登録団体数や在籍者数の減少の理由の一つとして、それぞれの団体が高齢化していることが挙げられる。また、これは高齢者大学の学生数にも該当することだが、コロナ禍の間に、活動を辞めるケースがあり、これも減少の原因になっていると考えられる。

また、登録団体の中には登録団体協議会からは抜けるが、活動は一般利用団体として続けているグループが数多くある。登録団体は、協議会の役員になると、協議会としての年間での業務は減少しているものの、発表会や作品展の準備では力仕事などもあり、高齢化した団体には負担になっていると思われる。

どの公民館も同様であるが、新たに協議会に入る登録団体はほとんどなく、団体数は減少の一途をたどっている。前回の会議でもあったが、協議会に参加すれば楽しいことがあるとか、

良い面をアピールする必要がある。

高齢者大学についても、学生数は減少し続けている。この理由の1つとして、社会情勢の変化により70歳ぐらいまで働く方も多いことが挙げられ、現に学生の平均年齢も70歳代前半に上昇している。以前は60歳で定年を迎えてすぐ入学される方も多く、抽選が必要なくらい入学希望者がいた時期もあったが、現在は定員を満たすこともなくなっている。

多くの公民館でこのような状態が続いており、高齢者大学を含め、高齢者教育という視点で、新たな方向性を見出していくことが必要であると考えている。

委員

登録団体の協議会での負担は、昔の方が大きかったと感じている。今は公民館側も協力しており、そこまでの負担ではないと認識しているが、現場では難しさを感じておられると思う。

これは加古川市だけでなく全国的な流れだと感じている。今以上に団体数が減少すれば更なる悪循環となるため、サポートできる体制を少しでもつくってほしい。

また、高齢者大学については定年を迎える年齢が遅くなっており、70歳を超えて働かれる方もいるため、その点での減少は否めない。ただ80歳、中には90歳を超えても、新しく入学される方もいると思うので、上手く啓発、PRをしてほしい。

いずれの問題についても解決は難しいが、様々な調査やできる努力を行うことでこの流れに歯止めがかかることを期待する。

委員

様々な団体が開催している個別の作品展や文化祭を、公民館で合同開催できたらと考えている。登録団体をはじめとして、町内の方、社会教育推進員、別の施設で活動されている方や、学校等の様々な団体を巻き込んで開催することで、互いに交流し助け合いながら事業が実施できると思う。様々な団体が関わるイベントを行うことで公民館の魅力を知ってもらえたらと日頃から考えている。

(報告事項)

- (1) 加古川市教育委員会公式ツイッターの開設について
- (2) 兵庫県社会教育委員協議会総会・研修会(5/22)の参加報告について
(社会教育課より報告)

- 閉会 15時25分
副委員長あいさつ

以上